

事務局用

第43回 運営委員会 議事録

日時 : 2022年10月26日(水) 16:00~18:00

場所 : WEB

出席者 : 浅枝会長、堂本委員、川島委員、川村委員、北村委員、赤羽氏(菅間委員代理)
上尾市環境政策課(課長代理:櫻井委員)
荒川上流河川事務所 濱田専門官
日水コン・日本生態系協会JV 中村、加藤、田中、小宮

資料

議事次第

資料-1. 第42回運営委員会議事録

資料-2. 第52回協議会の議事録

資料-3. 2022年度の協議会と各組織の進捗と予定

資料-4. 第53回協議会議事次第(案)

資料-5. 協議会の諸活動や組織体制の見直し

資料-6. 2023年度以降の自然再生地のモニタリング

【議事結果】

協議会では、実施者が活動内容を発表する形式の方が良いのではないかと。実施にあたっての運営ルールについては検討が必要であるが、試行しながら進めていく。

協議会の諸活動や組織体制の見直しについて確認した。

2023年度以降の自然再生地のモニタリングについて確認した。

- ・ について、運営委員会の結果を踏まえ、本協議会では実施者が活動内容を発表する形式としました。運営ルールについては試行しながら検討を進めていきます。
- ・ 、 については、後ほど資料5、資料6でご議論いただきたいと思います。

【主な議事内容】

第42回運営委員会議事録

- ・第42回運営委員会議事録について確認した。

第52回協議会の議事録

- ・第52回協議会議事録について確認した。

2022年度の協議会と各組織の進捗と予定

- ・2022年度の協議会と各組織の進捗と予定について確認した。
- ・運営委員会において、連携・協働を進めている企業・団体名をイニシャルで表記する必要はないと考える。
- ・資料公表については、水面下でアプローチしている企業・団体に関しては、イニシャルで表記することが良いと考えるが、運営委員会では企業・団体名が分かる形で表記する必要がある。

第53回協議会議事次第（案）

- ・第53回協議会議事次第（案）を確認した。
- ・協議会委員が協議会における活動の実施者であることを再確認した。
- ・協議会では、実施者が活動内容を発表する形式の方が良いのではないかと。実施にあたっての運営ルールについては検討が必要であるが、試行しながら進めていく。
- ・会議は、対面形式で行うことが望ましい。

WEBと対面の併用形式で進めていきたい（事務局）

- ・協議会をNPO法人化し、自立させていくことも考えられる。まずは、引き続き色々な企業等にアプローチをし、色々な方を巻き込んですべての協議会員が実施者として活動を続けていけると良い。

協議会の諸活動や組織体制の見直し

- ・協議会の諸活動や組織体制の見直しについて確認した。
- ・企業や学生の参画で協議会を拡大していくためには、事務作業を賄える作業費用を捻出していく必要がある。
- ・コミュニケーションツールの導入について、重要な案件の連絡には使用を避けた方が良い。

2023年度以降の自然再生地のモニタリング

- ・2023年度以降の自然再生地のモニタリングについて確認した。

その他

- ・協議会をより多くの方々に参加頂けるように、運営委員会で体制について議論した方が良い。
- ・セブン財団の協定内容について、早急に協議会委員全員に確認を行う。協定締結前の議論が不十分であったと考える。次回協議会では、振り返りを行う必要がある。

以上